



2021年度通常枠

事後評価報告書作成と提出までのながれ

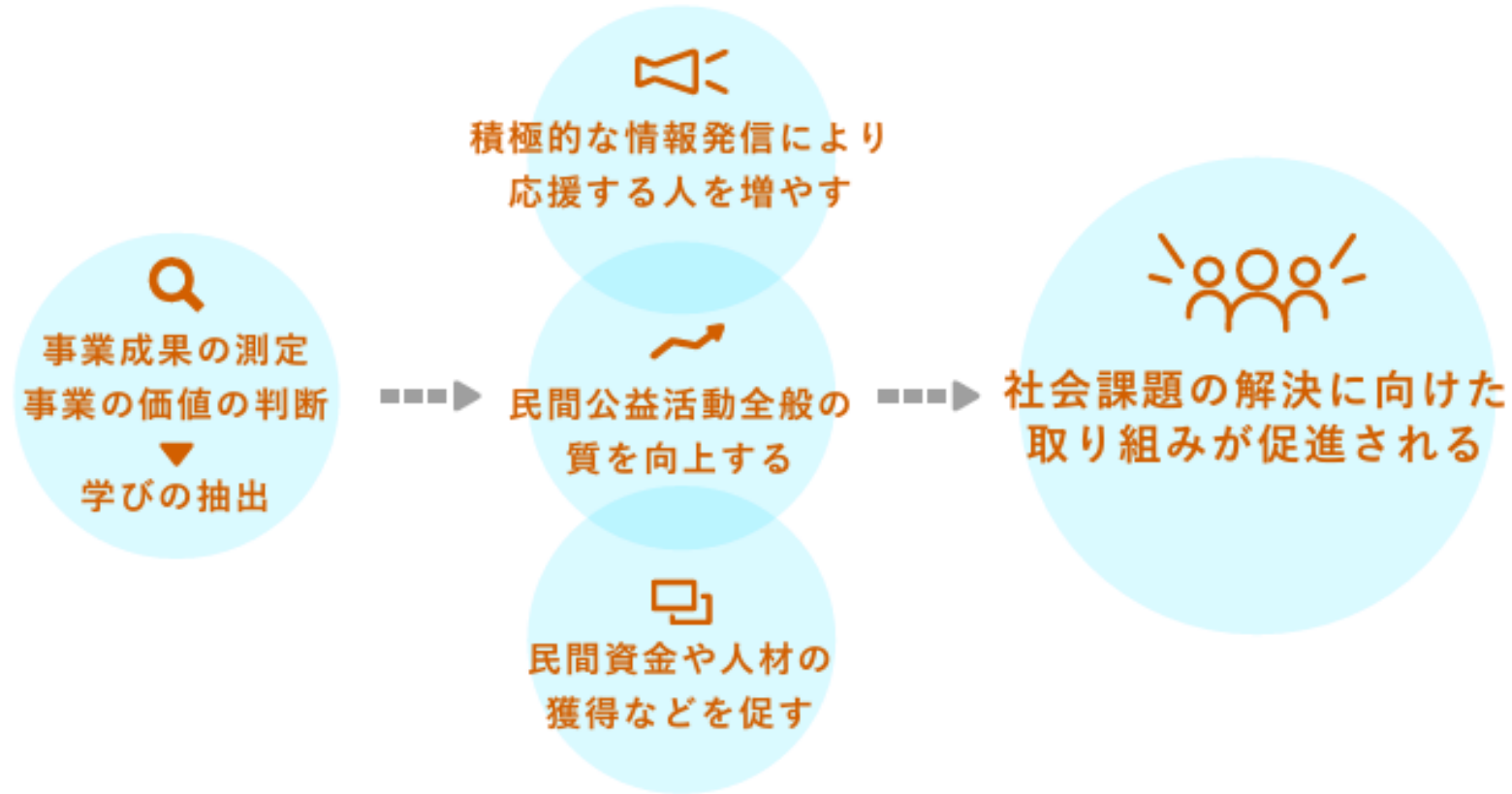


JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

- 1. 事後評価の目的**
- 2. 事後評価結果の報告と活用**
- 3. 事後評価における点検と検証**
- 4. 提出までのスケジュール**

- 1. 事後評価の目的**
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証
4. 提出までのスケジュール



ひとこと解説



評価実施体制、実施方法を含め、評価報告書は公開されます。評価結果が有効に活用されるためには正確かつ誠意ある情報開示、説明や報告を行うことが大切です。

1. 事後評価の目的
- 2. 事後評価結果の報告と活用**
3. 事後評価における点検と検証
4. 提出までのスケジュール

評価結果は活用されることが大切です



評価結果活用の目的

1

説明責任
を果たす

2

学びを
改善に
つなげる

3

知識創造の
ための材料
にする

参照：「資金分配団体、実行団体に向けての評価指針 2024年度5月改訂版」

1 説明責任を果たす

JANPIAへの報告だけが目的ではありません。



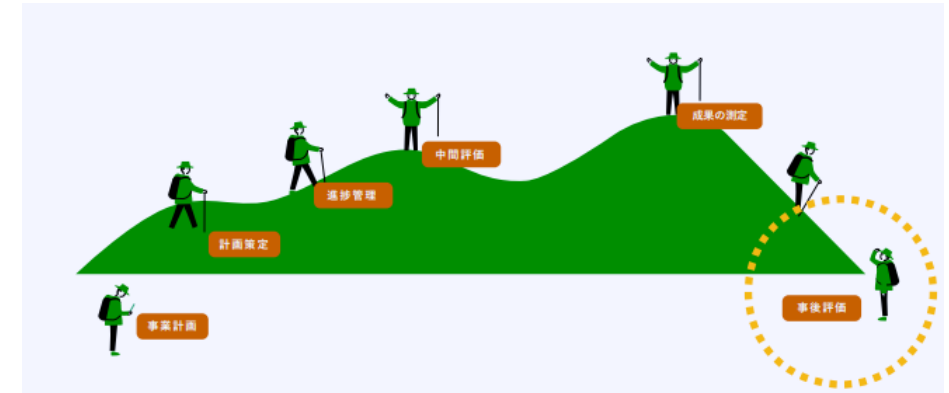
事業の対象者や多様な関係者、
協力者、関連・連携団体、同地域で類似活動を行う団体など

に評価結果を開示・説明し、得られた活動の改善内容や知見を共有することが重要です。

また、資金の活用成果を積極的に情報発信することで、**広く国民の理解を得る**ことが重要です。

2 学びを改善につなげる

事前評価結果は、事業実施前に事業計画を精緻化するために、
中間評価結果は、事業計画の改善に活用するために。



そして、事後評価結果は、**次の事業計画や他団体の類似事業に活用することが**期待されます。

また事業への活用だけでなく、**組織単位で評価による知見や活動の改善内容が共有**されることで**自らも学習して進化する組織**に成長するために有効に活用していくことができます。

3 知識の創造のための材料にする

収集・蓄積された情報は横断的かつ具体的に分析し、構造化された知識として整理し、分かりやすく、使いやすい形で広く提供・公表し、様々な場面で活用できるような知識環境を整備します。



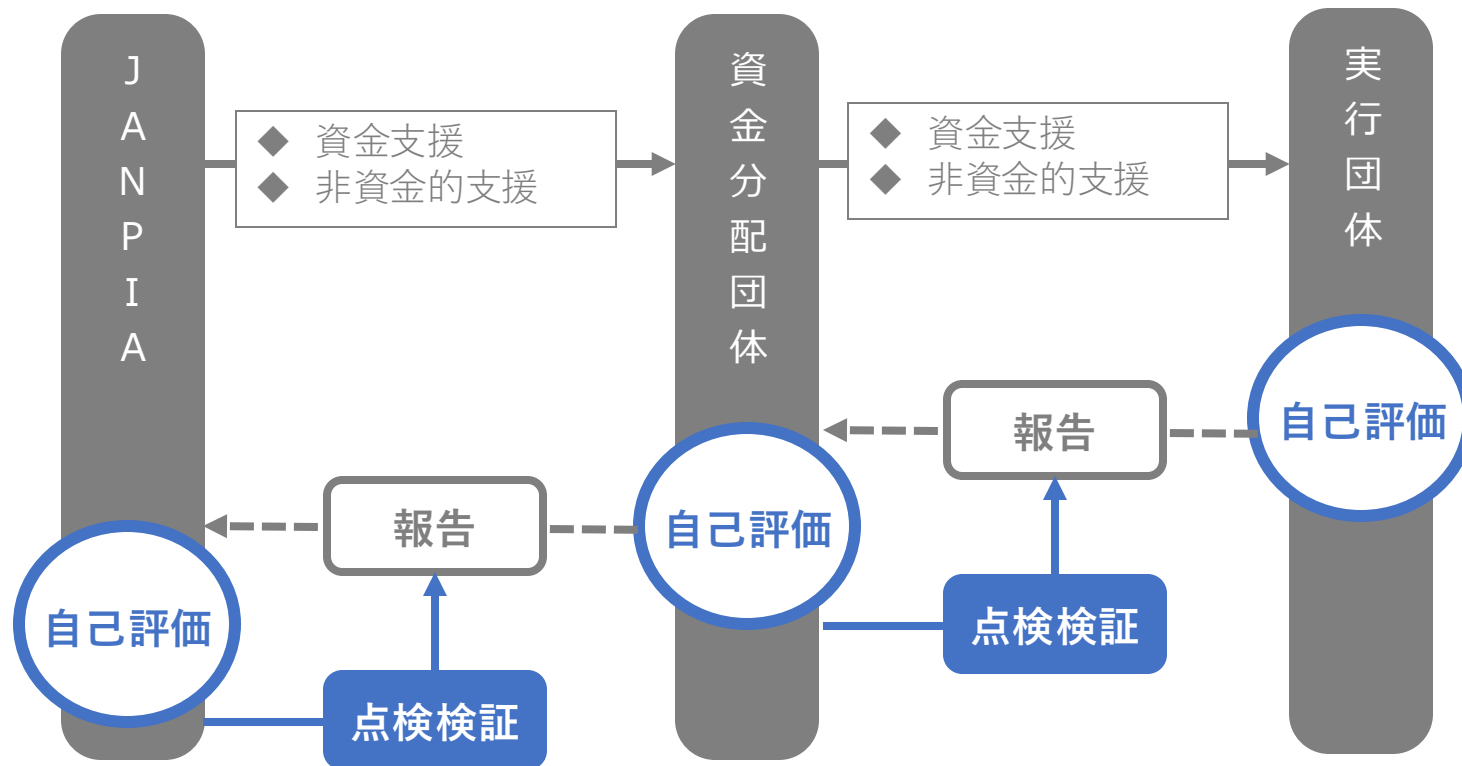
参照：「実行団体向け評価ハンドブック～事後評価編～2022年6月版」

1. 事後評価の目的
2. 事後評価結果の報告と活用
- 3. 事後評価における点検と検証**
4. 提出までのスケジュール

休眠預金事業の評価の特徴

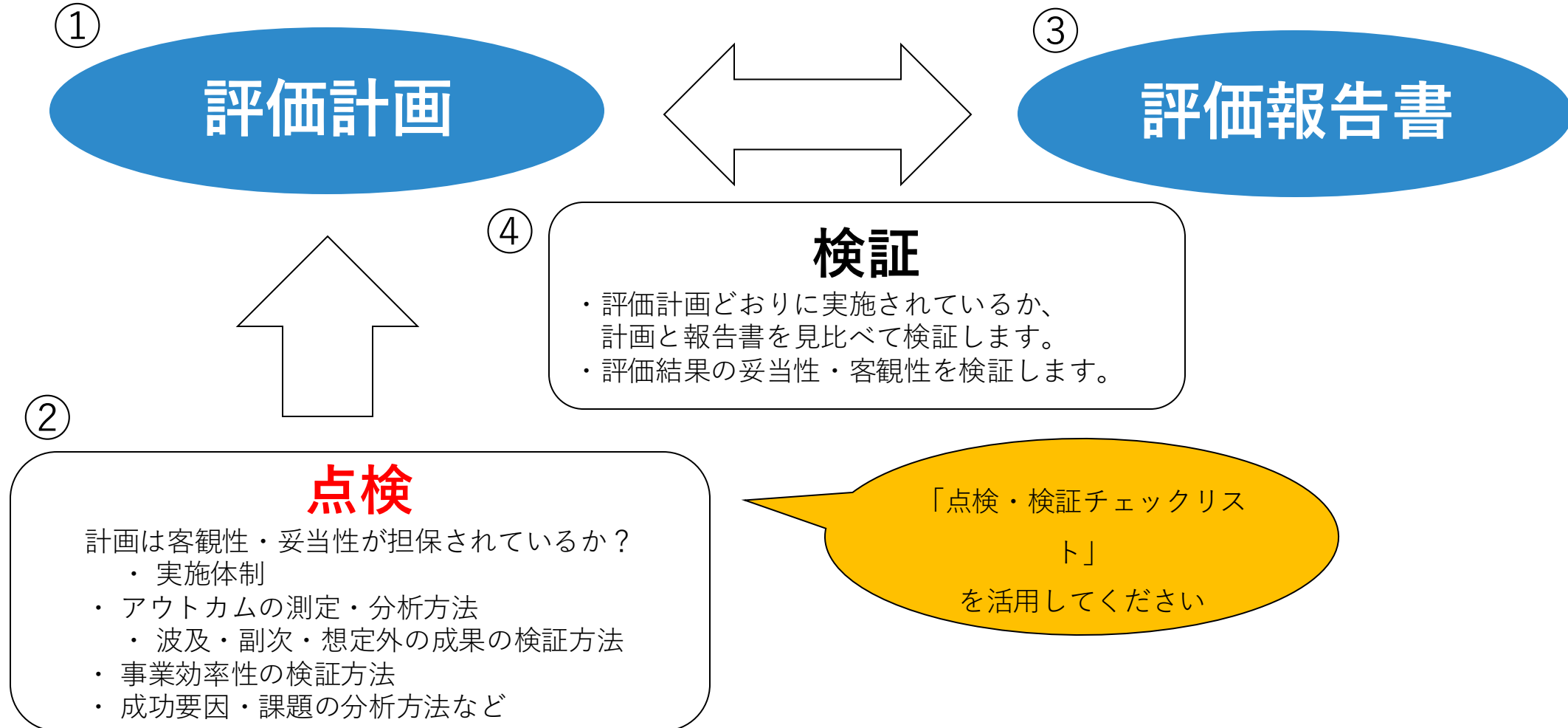
自己評価

→自己評価の客観性・妥当性を担保し、有効活用を促すために点検・検証を実施



①～④の順で、「点検」と「検証」を行います。

評価実施前に、評価計画の「点検」を行い、評価の質を事前に高めることを目指します。



【目的】

評価計画の客観性・妥当性が担保されているかを確認します。

【実施時期】

事後評価計画の具体化を実施後、事後評価の実施開始前

【実施方法】

実行団体が、資金分配団体へ具体化した事後評価計画書を共有
資金分配団体が「点検・検証チェックリスト」に基づき点検を実施。

【検証結果の反映】

結果を実行団体にフィードバックし、協議の上、評価計画書に
反映してください。

【目的】

評価計画の妥当性・客観性が担保されているかを確認します。

【実施時期】

事後評価計画の具体化を実施後、事後評価の実施開始前

【実施方法】

資金分配団体が、JANPIAへ具体化した事後評価計画書を共有
JANPIAが「点検・検証チェックリスト」に基づき点検を実施。

※評価専門家との「点検レビュー会」を適宜開催いたします。

【検証結果の反映】

資金分配団体にフィードバックしますので、JANPIA担当POと協議の上、
評価計画書書に反映してください。

【目的】

評価報告書の妥当性・客観性を検証します。

「事後評価報告書に含める事項」が内容に含まれているかも確認します。

【実施時期】

事後評価報告書最終版を受け取る前

【実施方法】

実行団体が、資金分配団体へ事後評価報告書ドラフト版を共有
「点検・検証チェックリスト」に基づき検証を実施。

【検証結果の反映】

結果を実行団体にフィードバックし、協議の上、事後評価報告書に
反映してください。

【目的】

評価報告書の妥当性・客観性を検証します。

「事後評価報告書に含める事項」が内容に含まれているかも確認します。

【実施時期】

事後評価報告書最終版を受け取る前

【実施方法】

事後評価報告書ドラフト版（目次案または各項目の要旨がまとまったもの）を共有、適時JANPIAによる検証を実施

【検証結果の反映】

結果は資金分配団体にフィードバックしますので、JANPIA担当POと協議の上、事後評価報告書に反映してください。

点検・検証チェックリストの使い方



- ・点検として事後評価計画時に、検証として事後評価報告書のドラフト提出時にそれぞれ確認を行います。
- ・「主な視点」に基づいて確認をしたらチェックをします。確認の結果や判断基準、理由については右欄に記載します。

1	アウトカム測定計画は、事業の成果を適切に捉えられるものか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	あらかじめ設定した短期アウトカムのほかに改めて追加する短期アウトカムはあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	あらかじめ設定した短期アウトカムのそれぞれの指標について、実際に測定が可能なものとなっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	多面的な測定により事業の成果を捉えられているか（受益者の変化だけではなく、非資金的支援による実行団体自身の変化や関係団体との関係性、地域・環境の変化など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	量的、質的データ（量的な変化、質的な変化の測定）を適切に組み合わせたデータ収集を行っているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	波及性や社会ニーズへの対応など、社会的成果を捉えようとしているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	効率性を検討する指標は検討されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	価値判断基準は適切に設定されているか、その精度を高める取り組みはされているか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	設定した目標値は根拠に基づいたものか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	短期アウトカムの価値判断基準は中長期アウトカムに繋がっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

評価計画や評価報告の妥当性・客観性が担保されているかを確認するために、7つの項目を設定しています。

- 1 アウトカムの測定計画
予め設定したものでよい？実際に測定ができる？
- 2 価値判断基準の設定
目標値は根拠に基づいている？
- 3 要因分析の計画
アウトカム達成の要因分析のための検証方法は考えられてる？
- 4 評価結果のまとめかた
収集するデータで十分な提言や知見・教訓が導き出せる？
- 5 評価関連経費のつかいかた
必要な調査にかかる費用などに有効活用できている？
- 6 評価の実施体制
複数の視点から多面的な情報を得られる体制になっている？
- 7 評価結果報告の活用
どのようにまとめて、いつ、誰に対して、何を、どのように伝える？

【書式】

自由書式

【ファイル形式】

自由（情報公開用はPDF）

【記載内容】

「事後評価報告書に含める事項」の内容
を含めること



社会的インパクト評価の結果が読み手にしっかり伝わるよう
必要な項目を立てています。

必ず参照し、事後評価報告書に含めてください。記載の順序
は資料の通りでなくても構いません。

【通常枠資金分配団体用】

事後評価報告書に含める事項

※事後評価報告書は、自由書式です。ファイル形式や項目の記載順等は各団体でお決め頂いて構いません。ただし、社会的インパクト評価の結果が理解できるよう、内容には以下の事項を含めるようにしてください。

※公開対象とする報告書は、画像も含めて1つのPDFファイルにまとめてください。アップロードしたPDFファイルは一般公開されます。個人情報や秘匿情報が含まれていないことを必ず確認してください。

1. 表紙と目次

1-1 表紙

※表紙には下記の情報を含めてください。

- (1) 事業名
- (2) 資金分配団体名
- (3) 報告書提出年月

1-2 目次

2. 報告書要約

※1600字程度で事業成果に関する結論を中心に概要を記載してください

3. 基本情報

この項目では、対象事業についての基本的な情報を記載してください。

【参考】2019,2020年度事業の事後評価報告書



休眠預金活用事業サイトで公開されています。

 休眠預金活用事業サイト

休眠預金活用事業サイトトップ > 事後評価報告

事後評価報告

事後評価報告の記事一覧



【事後評価】食の物流ネットワーク整備プロジェクト | 全国食支援活動協力会 [20年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価...」
JANPIA 広報担当 | 12 views 2024/07/31 12:33



【事後評価】コレクティブインパクトによる地域課題解決 | 社会変革推進財団 [20年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価...」
JANPIA 広報担当 | 9 views 2024/07/31 12:03



【事後評価】中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 | 中国5県 休眠預金等活用コンソーシア...
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価...」
JANPIA 広報担当 | 340 views 2023/09/15 15:28



【事後評価】人口減少と社会包摂型コレクティブインパクト事業 | 佐賀未来創造基金 [19年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価...」
JANPIA 広報担当 | 258 views 2023/07/26 19:03

ランキング



1 教えて！「休眠預金活用」っていったい何？ 事務局長に聞きま...
休眠預金活用事業サイト 編集部



2 2023年度 活動支援団体が発表されました
JANPIA 広報担当



3 地域の人たちの思いをTrial and error で形に...
休眠預金活用事業サイト 編集部



4 2024年度 物価高騰及び子育て対応支援枠〈随時・1次〉募...
JANPIA 広報担当



5 少年の更生に力を尽くす。社会復帰を支える就労支援で再犯のな...



2019年度 休眠預金活用事業

「事業名：こども食堂サポート機能設置事業」

事後評価報告書

【資金分配団体】全国食支援活動協力会



事後評価報告書

一般財団法人 中部圏地域創造フ
Chubu region Creative development Foundation

2019 年度事業「外国ルーツ青少年未来創造事業」
資金分配団体 事後評価報告書

1. 基本情報

- (1) 資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター
- (2) 資金分配団体事業名：外国ルーツ青少年未来創造事業—外国ルーツ若者に対する社会的包摂のための社会構築枠
- (3) 事業の種類：イノベーション企業支援事業
- (4) 実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
- (5) 事業対象地域：全国

2. 事業概要

「外国ルーツ青少年未来創造」(Supporting Youth of Diverse Roots and an Inclusive Society. 以下、SYDISとす)は、学校教育や職業支援を必要とする外国ルーツ青少年が抱える課題を、職業分野における包摂性向上と、教育や経済活動において様々な障壁にぶつかり立ちや困難な状況の克服を支援する。外国ルーツ青少年に対する教育の機会やキャリアにかなった支援を提供し、彼らのニーズに応える社会構築の目的としている。

日本に暮らす外国ルーツ青少年は、学校教育の場、学校でのきめ細かな支援の不足や、高校進学率の低さ、中途退学率の高さ、非正規雇用率の高さといった課題を抱えている。また、外国ルーツ青少年は大学や企業において日本人と異なる文化や価値観を有している。このような状況は、外国ルーツ青少年が社会に参画する上で、外国ルーツ青少年が抱える課題を克服し、社会の発展に貢献する機会を減少させている。

以上を背景に、本事業では、教育・経済分野における包摂性を向上させ、外国ルーツ青少年が教育・経済・エンパワーメントにかなった支援を受け、

1. 事後評価の目的
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証
- 4. 提出までのスケジュール**

事後評価報告書作成と提出までのスケジュール



事業完了日*1

実行団体

資金分配団体

2024年											2025年			
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
												実行団体	資金分配団体	
JANPIA → ご案内 様式等公開	実行団体 → 資金分配団体 事後評価計画を具体化 (7月末日途)									実行団体 → 資金分配団体 事後評価報告 提出 (資金分配団体の事後評価報告書作成前まで)				
						資金分配団体 → 実行団体 事後評価計画 の点検 (随時)								
								事後評価の実施						
									資金分配団体 → 実行団体 事後評価報告の検証 (事業完了日までに適時)					
JANPIA → ご案内 様式等公開	資金分配団体 → JANPIA 事後評価計画書を具体化 (7月末日途)										資金分配団体 → JANPIA 事後評価報告 提出 (事業完了日まで)			
						JANPIA → 資金分配団体 事後評価計画の点検 (随時) ※評価専門家との点検レビュー会								
								事後評価の実施						
										JANPIA → 資金分配団体 事後評価報告の検証*2 (事業完了日までに適時)				

2/27,28 PO研修

8/9PO研修

*1 上記の事業完了日を想定したスケジュールです。完了日が異なる場合や事後評価実施スケジュールが異なる場合、それに合わせてスケジュールが前後します。

*2 事後評価報告書最終版受領前までに、事後評価報告書ドラフト版を共有いただき、適時JANPIAによる検証を実施します。

事後評価報告書の提出時の留意点



助成システム『事後評価報告』メニューに
ファイル添付をして登録



- JANPIA提出用のほか、**情報公開用としてPDF形式のファイルを作成**してください。
- 参考資料（調査結果や写真等）も公開したい場合は、**1つのファイルにまとめて**ください。
- PDFファイルのファイル名に**【情報公開用】と記載**をしてください。

メニュー

- 1. 団体情報
団体関係情報の変更手続き、システム利用者の登録・変更はこちらから行ってください。
- 2. 事業採択
採択した事業及び団体の情報、公募結果報告、採択事業のコンソーシアム構成団体の後日追加はこちらから行ってください。
- 3. 事業計画・報告・評価
事業計画・評価計画の登録・変更手続き、進捗や評価報告書の提出はこちらから行ってください。

団体情報 詳細 | 採択事業登録 詳細 | 事業計画 詳細 | 評価計画 詳細

団体役員情報 詳細 | 公募結果報告/内定実行団体一覧 詳細 | 進捗/年度末報告 詳細 | 事前評価報告 詳細

規程類必須項目/現況確認書 | コンソーシアム団体追加登録 | 事業完了報告 詳細 | 中間評価報告 詳細

事後評価報告 詳細

事後評価報告

入力ガイド

基本情報

団体種別 資金分配団体

資金分配団体

事業名	食の物流ネットワーク整備プロジェクト	F200089
団体名	一般社団法人全国食支援活動協力会	F100718

実行団体

事業名		
団体名		

事業期間 2020/11/27 ~ 2024/03/31

事後評価報告書類

以下に提出書類ファイルをアップロードして申請してください。
新規・追加申請：「+」でファイルをアップロードして申請してください。
変更申請：「-」で旧ファイルを削除後、「+」でファイルをアップロードして申請してください。

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

提出

- 事業完了に向けて、事後評価報告書その他、経費精算報告、事業完了報告など複数の提出物がございます。**余裕をもったスケジューリング**で準備をお進めください。
- スケジュールはあくまで目安ですので、
皆さんの事業の進捗に合わせて、**前倒し**で進めていただいても結構です。
- ご不明な点や、スケジュール通りに進まない懸念がある場合は、
JANPIA担当プログラム・オフィサーに相談してください。